

## Business Strategy

# 事業別戦略

### Contents

- P.54 3つの事業フィールド
- P.56 総合エネルギー事業
- P.60 産業ガス・機械事業
- P.64 マテリアル事業

# 3つの事業フィールド

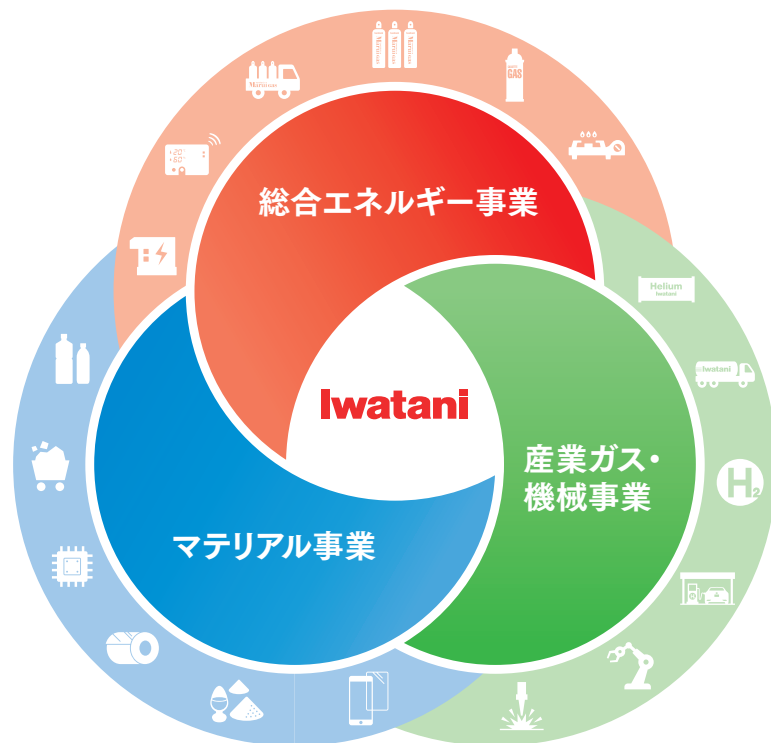
イワタニは「ガス&エネルギー」を中心に、

**総合エネルギー事業**

**産業ガス・機械事業**

**マテリアル事業の**

3つの事業を展開しています。



## 総合エネルギー事業



### エネルギー

家庭用・業務用LPガス「MaruiGas」/工業用LPガス/都市ガス(保安)/電気/LNG/灯油/LPG供給設備/LNGサテライト設備/ボイラー/コージェネレーション/工業炉

### 生活物資

LPガス非常用発電機/GHP/エネファーム/業務用給湯器/高機能ガス調理設備/太陽光発電/蓄電池/ガス警報器/イワタニゲートウェイ/炊き出しセット/オートガススタンド

### カートリッジガス

カセットこんろ/カセットボンベ/アウトドアブランド「FORE WINDS」/ミルサー/家庭用洗剤「ALALA」/宅配天然水「富士の湧水」/健康食品

## 産業ガス・機械事業



### 産業ガス

酸素・窒素・アルゴン/炭酸ガス/ヘリウム/アセチレン/アンモニア/冷媒ガス/再生医療/重水素/ハイドロカット/

### 水素

液化水素・圧縮水素/液化水素タンク/水素供給設備/水素ステーション

### 機械

接合切断技術/ロボットシステム/電子部品製造装置/半導体・自動化関連設備/環境関連装置/医薬関連装置/鍛圧・板金機械/工作機械/粉末成形装置/コンプレッサ/高圧ガス供給設備/タンクローリー

## マテリアル事業



### 機能樹脂

PET樹脂/アルミ触媒PET樹脂/バイオマスPET樹脂/バイオマスPP・PE・PS樹脂/汎用樹脂/エンブラ樹脂/樹脂成形品

### 資源

ミネラルサンド(ジルコンサンド・チタン鉱石)/バイオマス燃料(PKS・木質ペレット)/耐火物原料/金属粉・カーボン材料

### 新素材

レアメタル原料/レア・アース/ナノ材料/セラミックス成形品/その他電子関連材料

### 金属

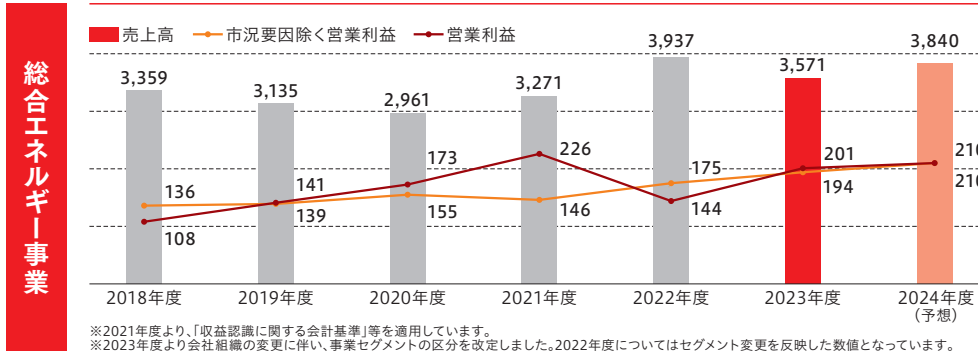
ステンレス/アルミニウム/銅・銅合金/機能性アルミ箔/高合金・ニッケル合金/高機能ステンレス箔/金属加工品/再生金属

### 電子マテリアル

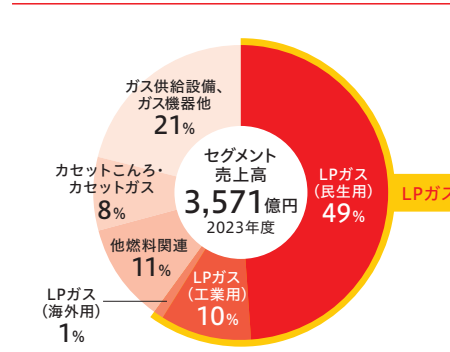
電池原料(コバルト・リチウム・マンガン他)/電池用部材/ディスプレイ用機能性フィルム

# 事業別売上状況

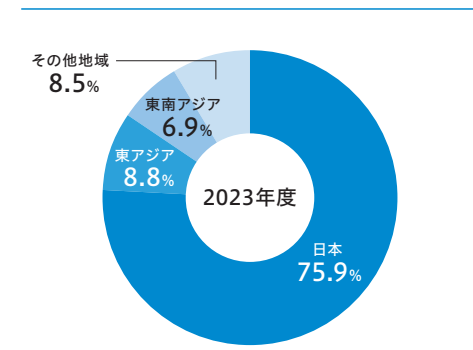
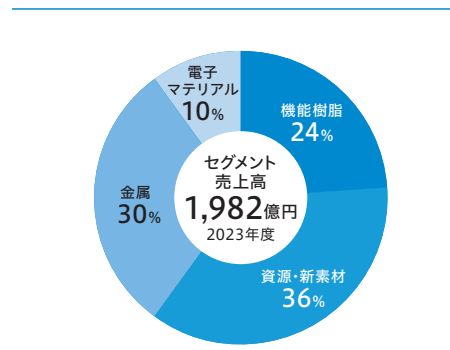
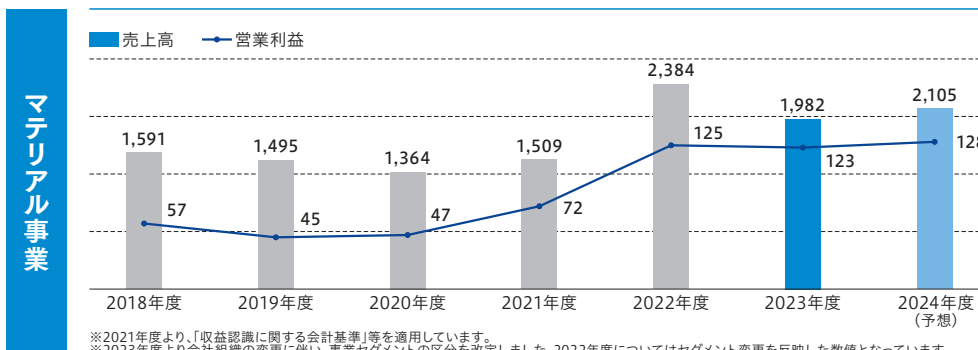
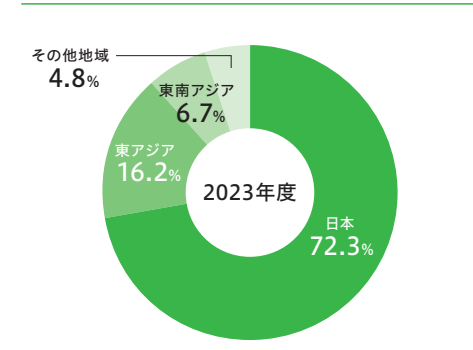
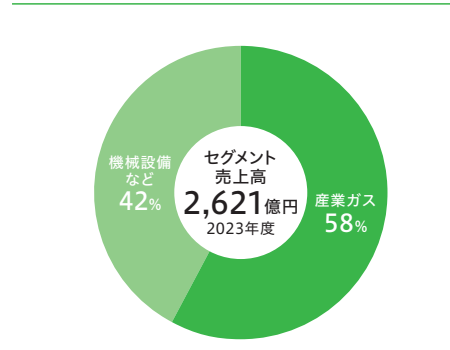
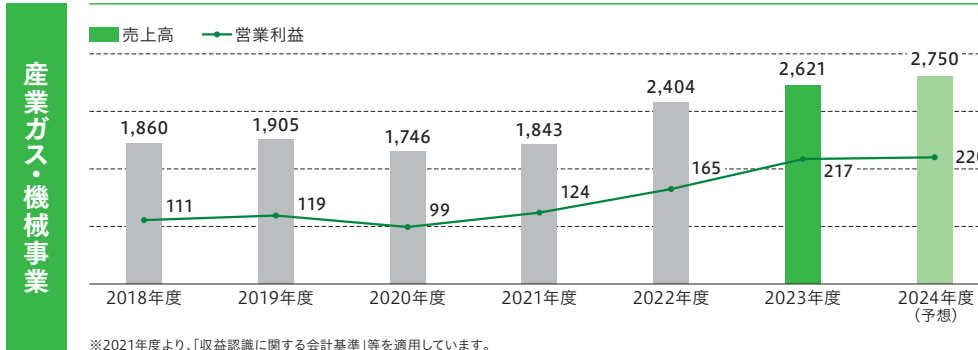
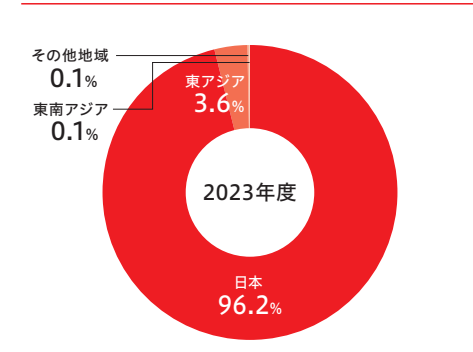
■売上高・営業利益推移(億円)



■売上高の構成比率



■地域別売上構成



# 総合エネルギー事業

LPガスのリーディングカンパニーとして、輸入から配送までの一貫体制を構築し、安定供給を維持するとともに、LNG供給や各設備の施工・メンテナンス、BCP対策・省エネ提案など、トータルサービスを提供しています。



専務執行役員  
エネルギー本部長  
**清水 尚之**

## エネルギー生活総合サービス事業者として 地域No.1の地位を確立する

エネルギー本部では、2023年度に全国の拠点を活用したM&Aの推進により、LPガス直売顧客数のシェア拡大を図るとともに、地域の暮らしを支えるサービスを創出することで、お客さまはもちろん地域社会の課題解決にも取り組んできました。今後も事業拡大に向け、さらなるM&Aの強化によるLPガスのシェア拡大と、地域の社会課題解決に引き続き取り組むとともに、AIを活用した配送効率化や関係会社の拠点の統合などによる事業コストの削減と経営管理の強化を図ります。また、さまざまなデータを活用した顧客関係管理・強化の仕組み(CRM)を通じて、お客さまとの信頼関係を構築、強固なものとし、長期的安定利益の確保に努めます。低・脱炭素に関しては、重油などからLPガス、LNGへの産業用燃料転換のさらなる推進、J-クレジット活用によるカーボンオフセットLPガスの販売強化、グリーンLPガス製造に関する研究開発を加速させるなど、取り組みを強化していきます。



専務執行役員  
生活物資本部長  
**酒井 泰**

## 高効率機器普及を通じた低・脱炭素化と DXの推進による社会課題解決を目指す

生活物資本部は、ガス機器や保安機器を販売するだけでなく、高効率機器の普及推進により家庭での低・脱炭素化につなげていきます。また、保安とデジタルを融合したイワタニゲートウェイの推進を図り、高齢化、過疎化が進む地域の社会課題を解決するためのインフラづくりも担っています。「エネルギー生活総合サービス」を目に見える形で実現し、LPガス事業者の進むべき方向性を示していきます。2023年度はコロナ禍後の販売先の在庫調整によりガス機器販売が苦戦しましたが、LPガス配送合理化を図るための保安機器の販売、設置は堅調に推移しました。また、イワタニゲートウェイは実証試験を実施している長崎県五島市福江島全体面積の約7割が通信カバーエリアとなりました。今後は高齢者見守りやフレイル予防、オンライン診療などの実証を通じてメニューの拡充を図るなど、全国のLPガスのお客さまが直面するさまざまな課題解決を通じて、地域に必要とされる事業者を目指していきます。



カートリッジガス本部長  
**米谷 淳則**

## スピーディーな商品開発と海外展開に 注力していく

カートリッジガス本部では、商品開発と海外でのカセットこんろ・ボンベの拡販が最大のテーマです。大きなシェアを有している国内のカセットこんろ・ボンベのさらなる拡販にも取り組んでいますが、需要そのものを拡大するための新商品開発に注力しています。最近ではカセットボンベを燃料にしたストーブが好評となりましたが、2024年度もカセットボンベの新たな使用方法を次々に提案していきます。海外では、東南アジアでの事業拡大を目指しています。2023年、タイでカセットこんろ工場の稼働を開始しましたが、タイのみならず周辺各国でもタイ製のこんろを販売していきます。今は1機種のみ製造ですが、2024年度中に3機種まで増やすとともに、各国文化にあったプレートも販売することで市場開拓を加速していきます。また、宅配水「富士の湧水」、洗剤シリーズ「ALALA」、健康食品なども取り扱い、当社のLPガスやカセットこんろ・ボンベをご使用のお客さまを中心に拡販に努めていきます。

# 総合エネルギー事業

## 強み

- ① LPガスのラストワンマイル・安定供給体制
  - LPガスのリーディングカンパニーとして、全国で輸入基地5カ所、充填基地108カ所、配送拠点約130カ所と業界No.1の供給網を有し、全国に安定した供給体制を構築
  - 災害など有事に備え、生活や事業継続を支えるBCPを支援（LPガス非常用発電機の導入など）
  - 災害発生時には、全国マルキ会で組織する MaruiGas 災害救援隊が駆けつけ、いち早くLPガスの点検、復旧を実施
- ② 脱炭素を切り口としたエネルギーベストミックスの提案力
  - LPガス・LNGへの燃料転換や、グリーンLPガス、水素、アンモニア、再生可能エネルギーなどを含め、イワタニならではの総合的な提案が可能
- ③ 地域社会の課題を解決する事業インフラ
  - 全国約280カ所、約3,200名の地域に密着した営業（リアル）とイワタニゲートウェイ（デジタル）を活用し、地域や各家庭のお困りごとを解決する幅広いサポート体制

## 機会

- ① CO<sub>2</sub>排出削減ニーズの高まりによる燃料転換の需要増
- ② LPガス業界の脱炭素化の流れ、構造変化
- ③ 地域の社会課題解決へのニーズの高まり

## リスク

- ① 地域の人口動態変化によるエネルギー需要減少
- ② 再生可能エネルギー導入拡大への対応の遅れ

## 事業資本

### 全国規模のリアルな接点を持つネットワークとLPガス特約店組織（マルキ会）

- 輸入基地から充填基地まで、全国に展開
- 災害に強いLPG基幹センターを各地に整備
- 全国に広がる営業・配送拠点網
- ブランド力・保安力を生かした強固な顧客基盤

#### 営業拠点

- 約280カ所
- 約3,200名

#### 配送拠点

- 約130カ所
- 約1,600名
- 車両約1,300台

### 民間エネルギー事業者として日本唯一最大の全国防災組織「MaruiGas災害救援隊」

- 災害時に速やかにLPガスの復旧作業を行うことを目的に特約店の協力のもと結成された全国防災組織
- 約3,600名のガス有資格者が参加
- 年に一度、全国で一斉訓練を実施し、災害対応力の維持・強化

### 安全・安心な品質管理と安定供給を可能にするカートリッジガスの製造工場

- 製販一体による高品質・ブランド力
- 顧客ニーズを取り入れた新商品開発力
- 国内外の製造拠点を活用した安定供給体制



日本

中国

タイ

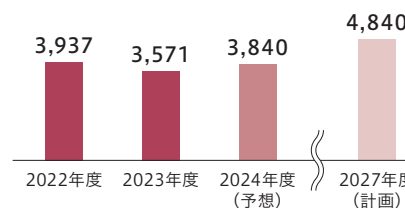
### 全国規模の地域社会課題をデジタルで解決するイワタニゲートウェイ

- お客さまとつながるIoTプラットフォーム
- 生活を支えるサービス・価値を提供する新たなインフラ
- P.26 国内エネルギー・サービス戦略

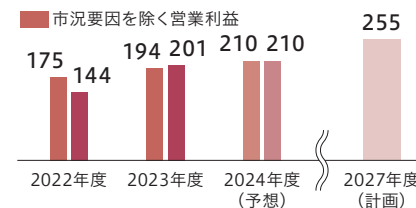
## 中期経営計画「PLAN27」における計画目標と進捗

### 計画数値

#### ■売上高(億円)

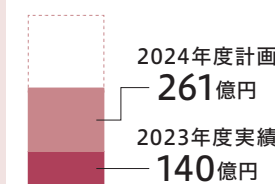


#### ■営業利益(億円)



### 5年間累計投資額

700億円



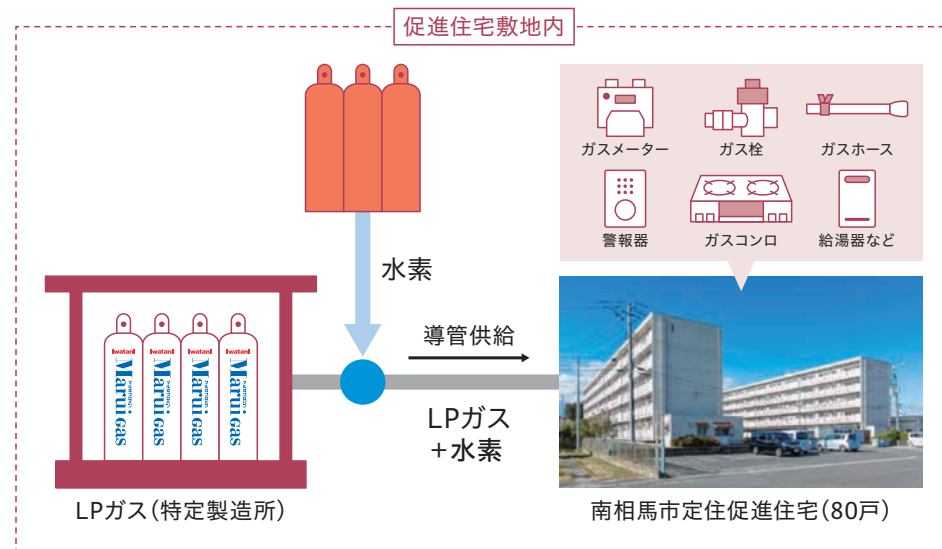
# 総合エネルギー事業

※LPガス事業の拡大施策は国内エネルギー・サービス戦略に記載[→P.25]

## 取り組み

### 国内初となる家庭向けの水素混合LPガスの導管供給へ

当社は、LPガスを導管供給している福島県の「南相馬市定住促進住宅」(80戸)において、使用可能な割合で水素を混合させて一般家庭に供給する実証事業を進めており、NEDOの助成事業に採択されました。この実証事業は、一般住宅への水素混合LPガスの導管供給という点と、既存の供給インフラ、ガス機器などを使用するという点で国内初の取り組みとなります。2023年度に水素を混合した場合の安全性、従来設備による継続使用の可否の検証を行い、2024年度末より水素を10%混合したLPガスの供給を開始する予定です。使用状況をモニタリングしながら、将来的には混合比率を上げる検討もしていきます。LPガスと水素の混合ガスによる導管供給は、家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量削減策の一つとして期待されており、南相馬市での実証を足がかりに、実現に向けて取り組みを進めていきます。



LPガスと水素の混合ガスによる導管供給

### お客様のニーズに応える生活商品・サービスの提案

当社は、全国にLPガスを供給する顧客基盤を有しています。当社のお客さまを対象に、LPガス非常用発電機やエアコンに使用されるガスヒートポンプ(GHP)などの災害時のBCP需要に応える商品や、三電池(蓄電池、太陽光発電設備、燃料電池)、高効率給湯器などの低・脱炭素商品を販売しています。また、イワタニの独自ブランドである「ALALA」(天然由来の家庭用洗剤)や「富士の湧水」(宅配水)などの生活に必要な商品の販売に加え、住宅リフォームやイワタニゲートウェイを活用した地域の見守り[→P.26]など、生活の質を向上させるさまざまな商品、サービスを展開しています。当社はこれからもお客さまや地域にとって必要不可欠な商品や暮らしに役立つサービスを提供することを通じ、お客さまの暮らしを支えていきます。



ガスヒートポンプ(GHP)



太陽光発電



ALALA



富士の湧水

# 総合エネルギー事業

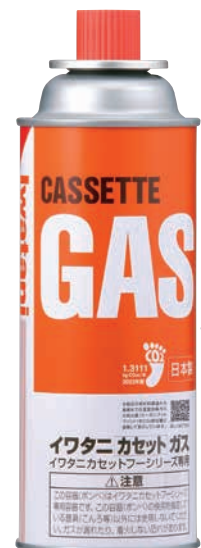
## 取り組み

### CO<sub>2</sub>削減に向けカーボンフットプリントの算定結果を公表

カーボンフットプリントの算定結果はこちら 

当社は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一つとして、2022年8月よりイワタニカートリッジガス(株)滋賀工場で製造したイワタニカセットガス(オレンジ)のカーボンフットプリント(CFP)※の算定を開始しました。原材料調達から廃棄までのCO<sub>2</sub>排出量を(株)ゼロボードと連携して算定し、ISO14067や経済産業省、環境省の手順や基準を参照しています。算定手順と結果は、第三者検証機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン(株)の審査を受け、製品への表示とウェブサイトへの掲載をしています。脱炭素化の指標の一つとして、算定結果は毎年公表するとともに、製造工程の低炭素化やサプライチェーン企業との連携によりさらなるCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいきます。

※商品の原材料調達から廃棄するまでのライフサイクル全体で排出された温室効果ガスを、CO<sub>2</sub>排出量に換算して数値化したもの



カーボンフットプリントカセットガス



**1.3111**  
kg-CO<sub>2</sub>e/本  
2022年度

日本製

本製品の原材料調達から廃棄までの温室効果ガスの排出量(カーボンフットプリント)をCO<sub>2</sub>排出量に換算して表示しています。詳しくはこちら



イワタニカセットガス

イワタニカセットフーシリーズ専用

### 「イワタニカセットフー“極”」の販売を開始

1969年に1号機を発売以来、さまざまな生活シーンに対応した商品をご提供してきたイワタニカセットフーシリーズの至高モデルとして、2024年1月に「イワタニカセットフー“極”」を発売しました。デザインは、世界的な自動車デザイナーであり、2025年大阪・関西万博で当社が運営する水素燃料電池船「まほろば」をデザインした山本卓身氏が監修しました。これまで四角いデザインが主流でしたが、今回は「和(なごみ)」をコンセプトに、ごとくと脚を一体化し、ローズゴールドの円形トッププレートを採用することで、これまでとは一線を画すデザインとなっています。高級感の中に機能性・安全性も兼ね備えた「イワタニカセットフー“極”」は、日常においても、大切な日のおもてなしとしても、食卓を華やかに演出するアイテムとなっています。当社はこれからも、お客さまの豊かな生活シーンを演出する商品の提供を続けていきます。



イワタニカセットフー“極”

# 産業ガス・機械事業

長年培った技術力と研究開発拠点を生かしながら、各種産業ガスの安定供給力と、ガス供給設備や機械設備などの豊富な商品ラインアップの提供により、お客さまの課題解決に貢献します。



常務執行役員  
産業ガス本部長  
**横谷 和貴**

## ガスで世界の産業を支えていく

産業ガス本部では、エアセパレートガス（酸素・窒素・アルゴン）、ヘリウム、炭酸ガス、半導体材料ガス、医療用ガスなどの産業ガスを提供しています。これらのガスは、自動車、半導体、電子部品、医療、食品業界の工場や研究施設で活用されています。当社は、各種ガスの製造・供給設備や、ガスを使用したさまざまなアプリケーション、効率的な配送や安全監視サービスなど、長年培ってきた技術力とガス・機械の幅広いラインアップで、世界の産業を支えています。世界が目指す持続可能な社会の実現、カーボンニュートラル社会の実現に向け、ガスを通じて、SDGsやCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。社会の変化や技術革新に柔軟に対応し、これからもお客さまの“お困りごと”を解決するための製品・サービスを提供し、世の中に必要となる存在であり続けます。

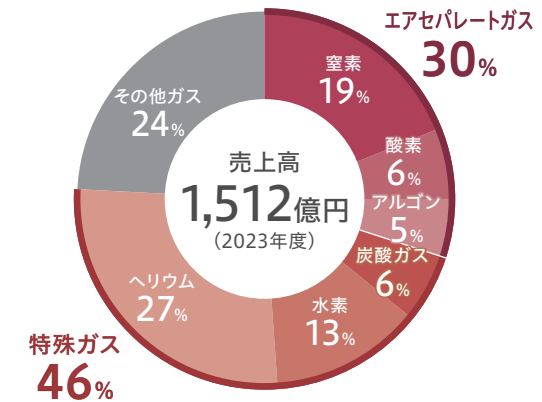


専務執行役員  
機械本部長  
**矢野 浩之**

## 幅広い機械設備で お客さまの課題解決と成長を共に

機械本部では、ガス供給設備や溶接材料、産業ロボットをはじめ、電子部品製造装置、半導体・医薬品・環境関連設備、工作機械などの各種機械設備を販売しています。お客さまの“お困りごと”に対して具体的な提案を行うことで、お客さまの課題解決を行いながら、共に成長を果たしていきます。国内外の幅広いネットワークによる豊富な商品ラインアップと長年蓄積した機械導入・提案ノウハウに加え、ガスを供給するグループの総合力を生かしていきます。近年では水素を利用した「水素切断機」「水素混焼バーナー」を販売開始し、厚板鋼板の切断時や燃焼炉での焼成時など、製造プロセスでのCO<sub>2</sub>排出量の削減・抑制に寄与していきます。今後も環境の変化に柔軟に対応し、「脱炭素」、「自動化」、「顧客密着」をキーワードに成長していくための取り組みを続け、イワタニグループの一員として存在感を発揮していきます。

## ガス種別内訳

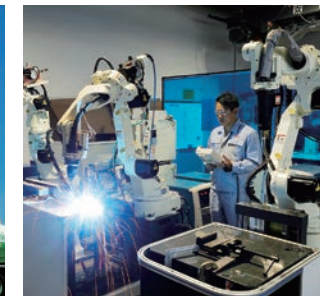


## 機械設備など

● 高圧ガス供給設備



● 溶接ロボット



- タンクローリー ● 溶接機器 ● 板金・溶接専用機
- 半導体製造装置 ● 溶接材料 ● 製薬設備



# 産業ガス・機械事業

## 強み

- ①メーカーポジションとしての安定調達・安定供給力
  - ヘリウム：複数の調達ソースと自社コンテナ保有などによる世界市場での競争力
  - 水素：製造、輸送、貯蔵、供給、保安まで、グループ内で対応
  - エアセパレートガス：品質マネジメント国際規格ISO9001認証を取得した高水準の品質管理体制のもと、全国規模の安定供給体制を構築
- ②水素に関する長年の経験、ノウハウ、ハンドリング技術
  - P.18 水素戦略
- ③お客さまの個別課題を解決する提案力
  - 低・脱炭素ソリューションをはじめとする幅広いガスアプリケーション技術
  - 多様な産業ガスと機械設備を組み合わせたトータル提案力
- ④中央研究所・岩谷水素技術研究所の技術開発力
  - P.39 技術戦略

## 機会

- ①製造業における脱炭素化・自動化・省人化の進展
- ②中国、東南アジア、米国における市場規模の拡大

## リスク

- ①国内外の産業構造の変化
- ②各国のカントリーリスクおよび政策動向など

## 事業資本

### 安全・正確・迅速なガス供給とサービスネットワーク

- 国内外で製造から供給まで安定したサプライチェーンを構築
- 地域ごとにメンテナンス・保安体制を確立
- お客さまのニーズに合わせたガス供給システムをカスタマイズ

### 【水素】

- 圧縮水素、液化水素共に安定供給体制を構築

### 【ヘリウム】

- カタールと米国の2カ国からの調達による安定供給
- ヘリウムコンテナを保有し、日本・アジアを中心に流通網を確立

### ガスの性質を自在にハンドリングするアプリケーション技術

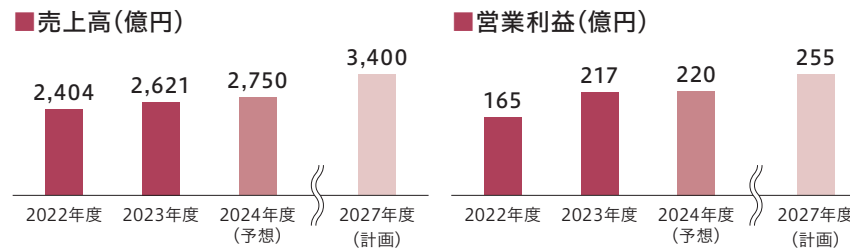
- 長年培ったガスハンドリング技術、設計からメンテナンスまで一貫した対応力、豊富な導入実績に裏付けられた提案が可能
  - お客さまのニーズや問題に迅速に対応するとともに、新たなガス技術開発を継続
- [例] CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減する水素ガスベースの溶断用混合ガス「ハイドロカット®」  
陸上養殖で利用が進む高濃度酸素溶解装置  
細胞など再生医療製品の凍結保管用液体窒素・保管容器

### ガスと機械を組み合わせた総合力

- ガス供給からガスを利用する機械設備まで当社グループで対応
- 国内外の幅広いネットワークによる豊富な商品ラインアップと、長年にわたり蓄積されたノウハウで、お客さまの生産活動をバックアップ

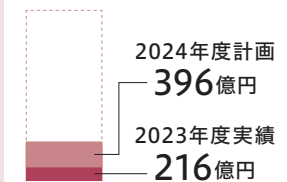
## 中期経営計画「PLAN27」における計画目標と進捗

### 計画数値



### 5年間累計投資額

2,700億円



# 産業ガス・機械事業

## 取り組み

### 低温技術で再生医療に貢献

再生医療の産業化に向けて、細胞を $-150^{\circ}\text{C}$ 以下で凍結・保管・輸送するために利用する液化窒素の需要が高まってきており、新たな成長分野として取り組んでいます。当社では細胞培養の炭酸ガス、細胞凍結や保管に使用する液化窒素、細胞の凍結保存容器、輸送容器や温度ロガーをワンストップで提案しています。そして細胞製造工場から保管・輸送拠点を經由して医療機関へ届ける低温物流（コールドチェーン）の構築に必要なガスや商品を展開しています。大学との共同研究やベンチャー企業への業務資本提携による研究開発にも力を入れています。2022年に中央研究所に「再生医療・バイオ研究開発拠点」を設置し、細胞製造工場で行う一連の工程を再現・評価する体制を築いています。細胞をやさしく凍結する技術開発や保管、輸送容器の研究開発も進めており、2024年には3D細胞を凍結する基礎技術開発にも成功し、研究開発力も強みとなってきています。また自社製の細胞保管容器、輸送容器の発売も予定し、取り組みを強化していきます。



細胞培養の様子

### 高濃度酸素溶解技術を生かした陸上養殖への取り組み

当社は、高濃度酸素溶解技術を生かした酸素を中心に陸上養殖に関わる商品を販売しています。陸上養殖は、生け簀などを用いた従来の海上養殖とは異なり、陸上に人工的な環境を創出して魚介類の養殖を行う技術です。当社は30年以上前から養鰻業者に対して酸素供給や酸素溶解装置を販売し、魚の生育促進につながる高濃度酸素溶解技術を培ってきました。2023年には中央研究所に陸上養殖の研究設備を導入し、さらに実践的な研究開発を進めています。また、酸素のみならず、水温維持に必要なLPガスボイラー、非常用発電機、さらに養殖に用いるFRP水槽の提供など、陸上養殖事業全体をカバーするラインアップをそろえています。陸上養殖は水産会社以外にも、近年異業種からの参入が増えている分野であり、食糧不足などの課題解決につながる重要な産業として、当社は海外への展開も視野に、これからも取り組みを進めていきます。



陸上養殖試験設備

# 産業ガス・機械事業

## 取り組み

### 工業炉のCO<sub>2</sub>削減に貢献する 水素混焼バーナー

政府が2030年のCO<sub>2</sub>排出量47%減(2013年度比)を掲げる中、国内で工業炉(乾燥炉・焼成炉・溶融炉など)を稼働しているメーカーは、燃料の燃焼時に発生するCO<sub>2</sub>の削減が喫緊の課題となっています。当社が共同開発した水素混焼バーナーは、工業炉を持つメーカーのCO<sub>2</sub>削減への有効な手段となります。現在稼働中の工業炉を活用し、バーナーを付け替えるだけで、従来の燃料に対して0~100%の比率を変えて水素の混焼ができ、工業炉の転換に比べて短期間で導入が可能です。2024年3月に水素混焼バーナーの1号機を納入し、さらに販売を加速するために、2024年5月に中央研究所内に実機を設置し、お客さまからの要望に対する実証実験、水素混焼におけるさまざまなデータ取得の体制を整えました。当社はこれからも国内唯一の液化水素供給網という強みを生かしたCO<sub>2</sub>排出量削減のソリューションを提案していきます。



水素混焼バーナー

### 東南アジアにおける事業拡大に向けた ガス供給拠点をシンガポールに開設

当社は、1974年に東南アジアの中核会社としてシンガポールに事業会社を設立し、半導体などのハイテク産業向けに産業ガスの製造・販売を行っています。近年、東南アジアではさまざまな用途で産業ガスが利用され、今後も需要の拡大が見込まれています。このため、従来マレーシアやシンガポールで運営していたヘリウムや半導体材料ガス、エアセパレートガスなどの供給拠点を集約し、ガス充填、貯蔵能力を拡充したガスセンターを2024年6月に新たに開設しました。同時に顧客へのタイムリーな配送体制を構築して増加する需要に対応していきます。新工場建設を契機にシンガポールおよび東南アジアにおける産業ガス事業の拡大を進めていきます。



シンガポール・ジュロン島に新設した総合ガスセンター

### さらにCO<sub>2</sub>排出量を抑えた 「ハイドロカット®シリーズ」の新商品を発売

各種鋼材の切断に加え、ろう付け、ガス圧接などで使用されるアセチレン(C<sub>2</sub>H<sub>2</sub>)は燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出します。当社は、代替ガスとして、水素とエチレンの混合ガス「ハイドロカット®シリーズ」の販売を行っています。「ハイドロカット®」の特徴は、アセチレン使用時と比較して84%のCO<sub>2</sub>排出量を削減できることや、輻射熱が小さく快適に作業でき、逆火が起りにくいことなど、現場の課題解決につながる点です。多様なメリットと技術サポートを通じて、造船、建設、自動車部品など、数多くの分野で利用されています。さらに、2023年には水素の混合比率を高め、CO<sub>2</sub>排出量をさらに抑えた「Newハイドロカット」の販売を開始しました。当社はこれからも施工現場での環境改善、CO<sub>2</sub>排出量削減といったお客さまの課題に技術と商品開発で応えていきます。



ハイドロカット®

# マテリアル事業

ミネラルサンドなど鉱物資源の開発や、機能樹脂、高機能金属、環境・エレクトロニクス・自動車産業に不可欠な原材料の調達・供給を行うとともに、循環型社会を見据えた環境商品やバイオマス燃料の取り扱いにより、脱炭素社会の実現に貢献しています。



専務執行役員  
マテリアル本部長  
**本折 憲司**

## グリーンマテリアルの安定供給により 脱炭素社会の未来を切り拓く

地政学的リスクの高まりを受けて、グローバル経済はかつてない速度で変化している中、マテリアル本部は強靱なサプライチェーンを構築することで、再生可能エネルギー、エレクトロニクス、モビリティ分野に不可欠な原材料の安定供給網の確保を推進しています。生産工程の低炭素化が求められる中、出資したノルディックマイニング社にて再生可能エネルギー由来の電力利用によりグリーンチタン原料を採掘し、2025年度から販売を開始する予定です。また、プラスチックの再資源化に向けたコンソーシアムへの参画や、金属リサイクルの事業化検討を進めるなど、循環型社会に向けてお客さまが求める商材を提供できるよう、取り組みを進めています。今後も、国内外の多くのパートナー企業と共に、企業スローガンである「住みよい地球はイワタニの願いです」の実現を目指します。

### 機能樹脂

- 樹脂原料 (PET樹脂、ポリプロピレン樹脂等)
- 樹脂成型品、各種フィルム、シート

関連業界：飲料・食品業界、日用品・家電業界等



エアコンパネル



PET樹脂

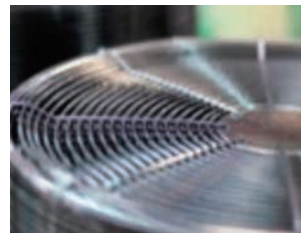


フィルム(保護テープ)

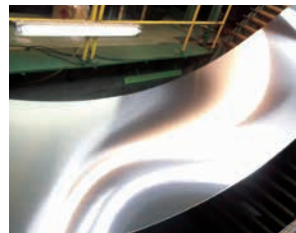
### 金属

- ステンレス ●精密ステンレス ●アルミニウム
- 非鉄材料 ●高合金 ●金属加工品

関連業界：電子部品業界、空調機器業界等



線材加工事業



ステンレス

### 資源・新素材

- ミネラルサンド (ジルコン、チタン原料)
- セラミックス原料 (レアアース、ジルコニウム化合物)
- 耐火物原料 ●バイオマス燃料 ●電子材料

関連業界：化学品業界、窯業業界、自動車業界、半導体業界等



豪州ミネラルサンド鉱区

### 電子マテリアル

- 電池関連材料
- ディスプレイ材料

関連業界：電子業界、車載電池業界等



スマートフォン関連部材



車載電池材料

# マテリアル事業

## 強み

### ① 強固な顧客ネットワーク

- 脱炭素社会への移行を牽引し市場をコントロールする有力企業を含む強固な顧客ネットワーク
- 低環境負荷樹脂原料、バイオマス燃料など、ネットワークを活用した環境商材のラインアップ

### ② 安定供給体制

- 海外サプライヤーとの強固な関係と自社ソースによる安定的な調達力
- 顧客ニーズを捉えた調達ソースの多様化とグリーン化

### ③ 最先端商品の提案

- 社会・顧客のニーズを踏まえた高付加価値な先端技術を活用した商品提案力
- ナノサイズの研究開発や新素材、先端材料に関して、大学やベンチャー企業などとの共同開発

## 機会

- 脱炭素社会移行期における環境商品への需要シフト
- 希少資源への需要の高まり
- 中国や東南アジア市場などの成長

## リスク

- 環境意識の高まりを受けた従来品の市場縮小
- 開発・製造・調達・物流などのコスト上昇
- 地政学的リスクの高まり、自然災害を受けた供給リスク

## 事業資本

### ミネラルサンドの事業基盤

- 豪州に自社鉱区を所有
- 供給ソースの多様化による安定供給体制を構築
- 資源メジャーからの調達を合わせた販売シェア国内No.1

### 海外の金属加工工場

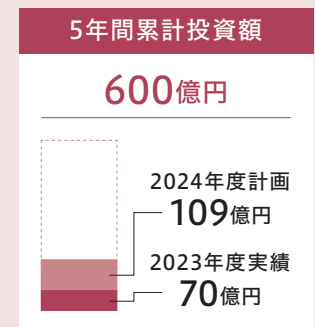
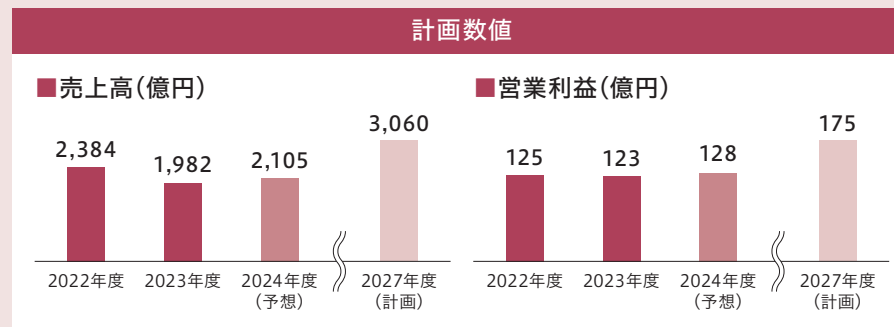
- 新興市場をターゲットに、材料から加工までの一貫生産体制を構築(タイ・中国)
- 顧客のニーズに合わせた製品開発・加工機能(空調設備・自動車関連部材)

### サプライヤーとの強固な関係

- 海外サプライヤーからの安定調達を実現する幅広いネットワークを構築



## 中期経営計画「PLAN27」における計画目標と進捗



# マテリアル事業

## 取り組み

### 重要物資ミネラルサンドの供給力を強化

ミネラルサンド(ジルコンサンド、チタン鉱石など砂状鉱物の総称)は、レアメタルとも称される希少金属を含んでおり、機能樹脂、高機能金属、環境・エレクトロニクス・自動車産業に不可欠な資源です。当社は、世界最大手のサプライヤー品(南アフリカ産、カナダ産)の輸入販売に加え、オーストラリアでは100%権益の自社鉱区を操業しています。当社は、2022年にはノルウェーの資源会社であるノルディック・マイニング社に出資し、2025年に操業開始する新鉱区で採掘される高純度チタン鉱石の日本向け権益を獲得しています。これにより、生産拠点が増えて安定供給体制の強化につながるとともに、ノルウェーは電源構成に占める再生可能エネルギーの割合が高いため、よりグリーンなチタン鉱石として、低・脱炭素への意識が高いお客さまにアピールして拡販していきます。当社は業界のリーディングカンパニーとして、より強固なサプライチェーンを構築し、安定供給に引き続き取り組んでいきます。



ノルディック・マイニング社の鉱区(ノルウェー)

### 低環境負荷PET樹脂の販売拡大

ボトルメーカー、飲料メーカー、フィルムメーカー等は、環境負荷低減が求められており、当社は有効なソリューションの一つとして、低環境負荷PET樹脂を販売しています。低環境負荷PET樹脂は、サトウキビの搾りかす(廃糖蜜)から精製したバイオマスMEGを原料とするバイオPET樹脂、高い熱安定性により優れたリサイクル特性(リサイクル時に色や物性が変化しにくい)を持つアルミニウム触媒PET樹脂、製品からの重金属物質の流出リスクを低減する低アンチモン触媒PET樹脂という3つの商品群から成り、拡販に力を入れています。また、当社は2021年より再生可能資源であるバイオナフサを使用したバイオPP・PE・PS樹脂の取り扱いを開始し、CO<sub>2</sub>の排出量を削減しながら、石油由来のプラスチックと同じ品質のバイオプラスチックを提供しています。



低環境負荷PET樹脂製品

# マテリアル事業

## 取り組み

### ステンレスの加工機能強化と新技術開発による事業拡大

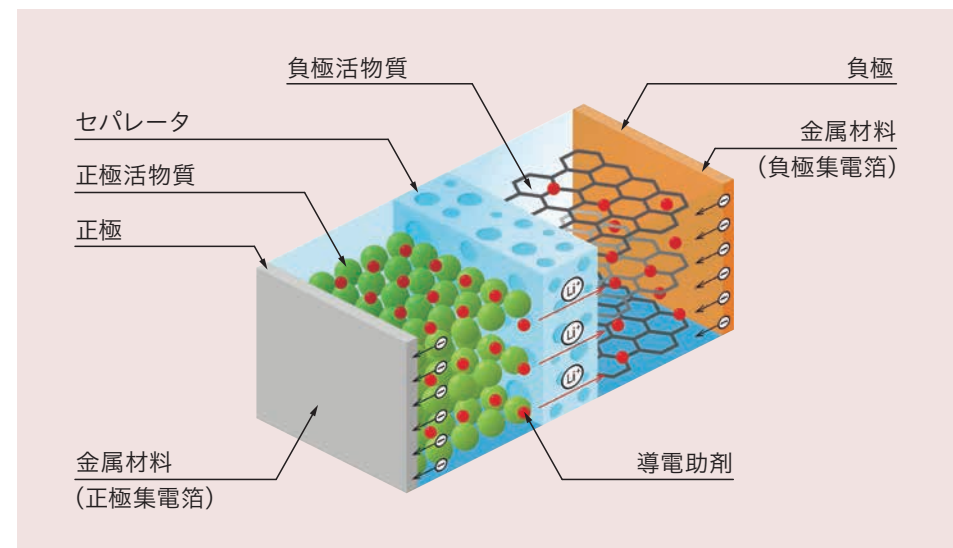
金属部門の主力であるステンレス事業の収益拡大を目的に、2024年3月に太平工材(株)および太平金属(株)の発行済株式を100%取得しました。同社は、兵庫県を拠点に幅広い品種の材料の在庫と迅速な加工による即納体制を確立し、顧客密着の営業展開により地域トップクラスのシェアを有しています。今後、当社グループの競争力の強化とステンレス事業のさらなる拡大につなげていきます。また、当社は、従来の溶接では困難とされていた、ステンレスと銅を溶接する技術を開発しました。この溶接技術を用いることで、空調設備などの銅配管の一部をステンレス配管に置き換えることが可能となり、今後需給の逼迫が予測される銅の使用量削減に貢献することができます。引き続き積極的な提携・買収による事業拡大と、技術開発による新たな市場開発を推進していきます。



銅鉄合金を用いた銅とステンレスの溶接

### リチウムイオン電池製造に不可欠な二次電池材料の供給力強化

二次電池は充電することで繰り返し使用可能な電池の総称で、中でもリチウムイオン電池は小型・軽量・長寿命という特徴を生かし、スマートフォンやノートパソコン、電気自動車、ハイブリッド車など多くの用途で使われています。当社は、リチウムイオン電池の部材の中で容量やエネルギー密度等を決定する正極材の製造に必要なリチウム、コバルト、マンガンなどを提供しています。現在、これらの鉱物は主に中国で精錬されていますが、当社では中国に加えて新たなサプライチェーンを構築することを視野に、安定供給への取り組みを進めています。また、リチウムイオン電池の発火リスクを抑えるための部材提供や、数年後に実用化が見込まれる全固体電池の研究開発への参画も進めており、今後さらに拡大する二次電池材料市場への多角的な参入・供給力の強化を図っていきます。



リチウムイオン二次電池 内部構造